News Release

2026 年 11 月 25 日

DIC株式会社

ＤＩＣと東洋化学、マテリアルリサイクル技術「DeReSus®」の商業化に向けたパイロットラインを導入

― 2027 年稼働開始予定、フィルム資源循環の実現に向け商業化検証を本格化 ―

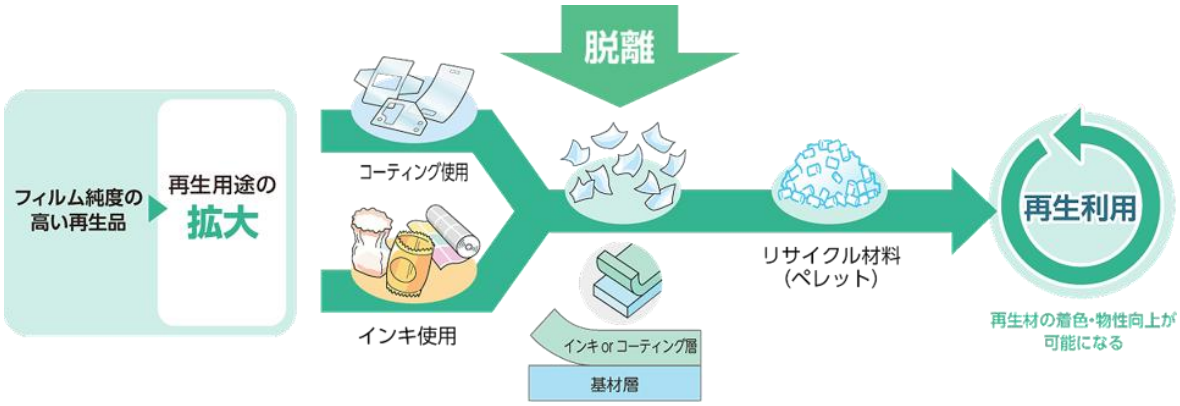
ＤＩＣ株式会社（本社：東京都中央区、社長執行役員：池田尚志、以下「ＤＩＣ」）と株式会社東洋化学（本社：岐阜県関市、代表取締役：佐藤茂樹、以下「東洋化学」）は、フィルム・シート向けマテリアルリサイクル技術「DeReSus®（デリーサス）」の商業化に向け、東洋化学が新設する巾工場（岐阜県関市）にパイロットラインを導入し、2027 年に稼働開始予定であることをお知らせします。本取り組みは、研究開発段階にあった DeReSus を商業化フェーズに移行させる初のスケールアップ実証であり、フィルム・シートの資源循環拡大に向けた重要なマイルストーンです。両社は本パイロットラインを活用し、製造プロセスの再現性・安定性やスケールアップ性の検証、顧客評価、経済性評価などを共同で進め、2028 年以降の商業化ラインの実装を視野に事業化検討を加速します。

背景

近年、欧州の包装・包装廃棄物規則（PPWR）や日本の循環経済行動計画などを背景に、プラスチック包装材の資源循環に向けた取り組みが加速しています。一方、包装用途で広く使用されるフィルムやシートは、印刷インキやコーティング剤が表面に残ったまま再生された場合、再生材の品質低下や、用途制限の要因となり、高品質なマテリアルリサイクルの実現が課題となっています。

DeReSus 技術の特長

DeReSus は、フィルムやシートのリサイクル工程において、表面の印刷インキやコーティング剤を除去するマテリアルリサイクル技術です（特許取得済み）。これらをリサイクル工程の前段階で除去することで、再生材の品質向上や用途拡大を可能にし、フィルム資源循環の促進に貢献します。脱インキ・脱コーティングにより、再生材の色の選択肢や二次加工適性の向上、臭気の低減が期待できます。また、再生材中の塩素系成分を低減することで、リサイクル工程や後工程で使用する設備の腐食抑制にも貢献します。さらに、専用の脱インキプライマーや脱インキ専用のインキを必要とせず、さまざまな印刷インキやコーティング剤を除去できる点が特長です。これにより、顧客は既存のフィルム構成や製品設計を大きく変更することなく、フィルムリサイクルの実現を目指すことができます。主な対象材料は PET（ポリエチレンテレフタレート）、PP（ポリプロピレン）、PE（ポリエチレン）などのフィルム・シートであり、今後パイロットラインでの検証を通じて、適用可能な材料範囲の拡大を進めていきます。



「DeReSus®」技術によるフィルム資源循環のイメージ

【報道機関からのお問い合わせ】 コーポレートコミュニケーション部　　03-6733-3033　dic-press@ma.dic.co.jp

News Release

東洋化学との協業およびパイロットラインでの取り組み

東洋化学は、岐阜県関市の巾工場に DeReSus 技術を用いたパイロットラインを導入し、2027 年（第 2 四半期以降）の稼働開始を予定しています。同ラインでは、フィルム・シートを対象とした脱インキ・脱コーティング処理のスケールアップ実証を行います。両社は、パイロットラインでの再現性や運転安定性の確認に加え、品質・顧客評価および経済性評価を進め、商業化ライン導入に向けた技術的・事業的な検証を実施します。

ＤＩＣは DeReSus 技術の知見提供や再利用適性の評価を担当し、東洋化学はリサイクラーとして培った製造技術と品質管理ノウハウを活用して高品質な再生材原料の製造を担います。両社はそれぞれの強みを生かし、フィルム包装材の循環モデル構築と早期の社会実装を目指します。

今後の展望

両社は、協業を通じて DeReSus の商業化を推進するとともに、フィルム・シートなどの包装材の資源循環を拡大し、サーキュラーエコノミーの実現に貢献していきます。

なお、東洋化学は、2026 年 12 月 1 日（火）から 5 日（土）まで幕張メッセで開催される「IPF Japan 2026（国際プラスチック・ゴム専門展示会）」に出展し、DeReSus 技術を導入したパイロットラインの稼働検証について紹介する予定です。

以上

【関連情報】

「DeReSus®」技術の詳細およびお問い合わせ

https://www.dic-global.com/ja/solution/packaging_graphics/packaging/special/deresus.html

-株式会社東洋化学について

東洋化学はプラスチックの資源循環を支える再生原料メーカーです。創業以来「人と未来に優しい環境づくり」をテーマに、社会の発展と産業の下支えとなるよう多様なニーズに応える再生原料の提供に取り組んでいます。長年培ってきたリサイクル技術とノウハウを活かし、プラスチック資源の可能性を広げ、資源循環型社会の実現に貢献していきます。

社名：株式会社東洋化学

代表者：佐藤　茂樹

所在地：〒501-3521　岐阜県関市下之保 4927-2

設立：1977 年 5 月

-ＤＩＣ株式会社について

DIC は日本で有数のファインケミカルメーカーです。DIC を中心に世界全体で Sun Chemical Corporation を含む約 160 の子会社によってグループが構成され、60 を超える国と地域で事業を展開しています。グループ全体として、人々の生活に欠かせない包装材料、テレビや PC 等のディスプレイに代表される表示材料、スマートフォンなどのデジタル機器や自動車に使用される高機能材料を提供するグローバルリーディングカンパニーと認知されています。これらの製品を通じて、社会に安全・安心、彩り、快適を提供しています。DIC グループは持続可能な社会を実現するため、社会変革に対応

【報道機関からのお問い合わせ】 コーポレートコミュニケーション部　　03-6733-3033　dic-press@ma.dic.co.jp

した製品や社会課題の解決に貢献する製品の開発にグループ一丸で取り組んでいます。連結売上高は 1 兆円を超え、世界全体で 21,000 名以上の従業員を有するなか、DIC グループはグローバルで様々なお客様に寄り添っていきます。

詳しくは、https://www.dic-global.com/　をご覧下さい。

【報道機関からのお問い合わせ】 コーポレートコミュニケーション部　　03-6733-3033　dic-press@ma.dic.co.jp